

平成31年4月12日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

腸管出血性大腸菌（O26^{オー}）感染症患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の男性（10歳代）
- (2) 経緯 4月 7日（日）腹痛が出現した。
8日（月）腹痛が持続し、近医を受診し整腸剤等の処方を受けた。
10日（水）症状が持続し、入院した。
同日、検便を実施した。
11日（木）腸管出血性大腸菌O26（VT1）感染症と診断された。
- (3) 症状等 現在、入院加療中。快方に向かっている。

2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

予防対策について

- 食べ物は十分加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- 手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
- 下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

(別紙)

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	平成 31 年	平成 30 年 同時期延べ数	平成 30 年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
○157	1 (0)	0 (0)	10 (3)
○26	1 (本事例を含む) (1) (本事例を含む)	0 (0)	10 (4)
型不明	1 (0)	0 (0)	0 (0)
○111	0 (0)	0 (0)	3 (2)
○118	0 (0)	0 (0)	1 (1)
○128	0 (0)	0 (0)	2 (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	3 (1)	0 (0)	26 (10)